

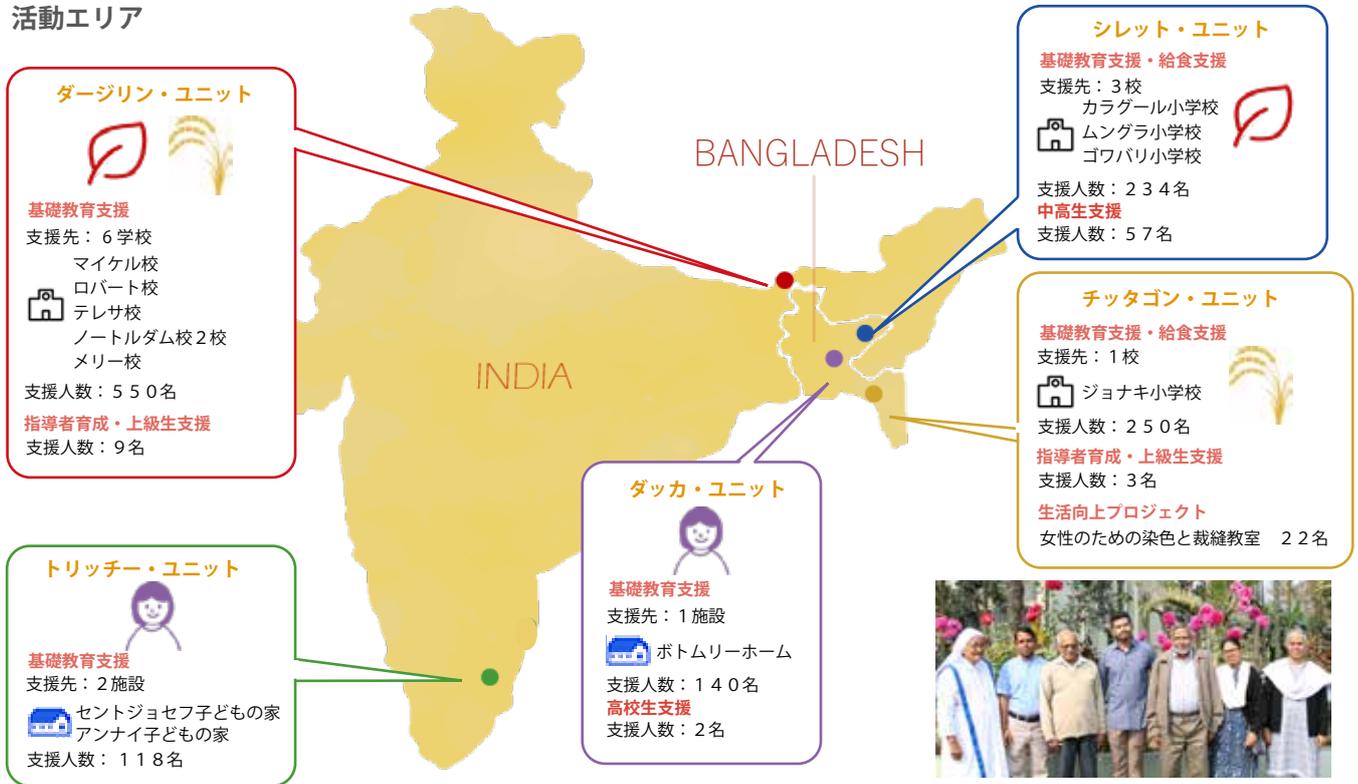
教育支援事業

1,300 人の子どもたち一人ひとりが夢と希望をもって生きていけるような社会の実現をめざして

「教育こそが子どもの未来への道」

E S Aはバングラデシュとインドの中で、教育を受ける権利を奪われた子どもたちに教育支援を実施することで人間の尊厳を守る能力を育て、子どもたちが未来へ向かう力を得る手助けをしています。2024 年度は合計 1,385 名の子ども、学生に対し教育支援を実施し、教育支援費の総額は 18,472,067 円でした。

活動エリア



E S Aの活動のベースは **子どもの権利**

教育の力で子どもたちが、夢と希望を持って生きられるようにするための土台

子どもたちは「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」権利を平等に持っています。

子どもの権利はすべての子どもが健やかに、自分らしく育つために必要な、当たり前のものです。まずはその権利を有することを、子どもたちが、そして周りの大人たちが知ることが大切です。

そして、学ぶ権利もまたすべての子どもたちが平等にもち、守られるべき権利です。しかし、バングラデシュやインドにはこれらの権利が守られていない地域があります。私たちは、子どもの権利を大切にする教育をサポートしています。



質の良い教育を行うために E S Aが取り組む4つの領域

学力



こころ



健康



環境



支援フィールド



紅茶農園に住む子どもたち



過酷な労働者の生活から脱却するための教育

ダージリンやシレットの紅茶農園では、何世代にもわたって低賃金、重労働の過酷な条件下で働いています。貧困から脱却できない仕組みの中で生きる子どもたちが、教育によって自分たちの権利を知り、未来へ希望を抱けるようになってほしい。それが私たちが支援する理由です。



村落に住む子どもたち



何も無い生活に光を注ぐ教育

都市部から離れた辺境の農村地域では、まだまだ無償教育が普及していません。教育を受けていない親の収入は低く、子どもの教育費を払うことができません。開発途上国から抜け出して発展を遂げている裏側には、取り残されている地域や子どもたちがいるのです。



女の子の権利を守る子どもたち



女の子が力強く生きていくための教育

ダッカとトリッチーの子どもの家では、親との死別や貧困からくる育児放棄など家庭に問題がある女の子たちが生活を共にしています。学校卒業後、自分たちの力で道を切り開いていけるよう、施設のスタッフが親代わりとなって彼らの心身の健康と就学をサポートしています。

2024 年度の教育支援事業

セントジョセフ子どもの家の子どもたち ジャスミン先生より【インド・トリッチー】

「まさに必要な時の救いの手は海よりも大きい。」とセントジョセフ子どもの家のジャスミン先生は言います。

見知らぬ貧しい幼い子どもたちへの日本の皆さんの支援は、後回しにすることのできない教育のチャンス子どもたちに与え、みじめな生活からの解放を可能にしています。セントジョセフ子どもの家で生活する二人の女の子を紹介します。

マリニは9歳。1歳の時にお母さんが病死し、路上で叔母さんと暮らしていましたが、昨年7月に施設に入りました。初めて屋根のある所で寝ることができ、どんなにか安心したことでしょう。今では50人の集団生活にも慣れ、学校にも入学し、小学1年生の勉強から始めています。



施設の子供たちはそれぞれがマリニのような家庭崩壊、孤児、育児放棄、路上生活、極度の

貧困などの背景を持ち、心は複雑です。しかし、学びを重ね、今まで将来を描くこともできなかった子どもたちの中には、医者、エンジニア、役人、公務員、警察官などの目標を持つようになるのです。

ディヴァナニは卒業まであと1年の11年生。7歳で両親を亡くし15歳の兄がしばらく面倒を見ていましたが、将来を考え施設に連れて来られました。仲間の存在のおかげで寂しさも紛れ、昨年は全科目で優秀な成績で中学を卒業しました。今年から2年間、カレッジレベルで学びます。陸上種目も得意で地域大会でメダルをたくさん獲得し、彼女に自信を与えました。



皆さんの支援がなかったらこの子たちはどうなっていたのでしょうか？必要な時の支援があったからこそ、彼女たちの人生が救われています。



成果を見せた放課後教室、2024年で終了【インド・ダージリン】

大阪コミュニティ財団助成事業

2023年末から開始したダージリンユニットでの放課後教室は、子どもたちの落第率減少や心身の安定に大きな成果を残しました。しかし、残念ながら農村部では暗くなってから子どもを安全に帰宅させることが困難であったことから、2024年をもってこのプロジェクトを終了しました。



教育環境整備事業

子どもたちの学びを守るためには、安心して安全に学べる環境を整えることが大切です。現地のパートナーと相談しながら、建物の建設やメンテナンス、環境作りを実施し、子どもたちに安全な教育環境の整備に努めています。

ダーズリン・ユニット

ノートルダム・スブック校 トイレ棟建設

個人の寄付者からの支援事業
支援額：¥2,640,930



中学校の認可が下り、2学年生徒が増えたことや、トイレの老朽化により改築が急務となっていました。新たに男子棟、女子棟が完成し、安全で衛生的、かつ思春期の子どもたちのプライバシーが守られる環境が整えられました。



INDIA

チッタゴン・ユニット

20周年記念行事開催

支援額：¥125,156

ジョナキ小学校が地域の唯一の教育機関として村の教育の普及に大きく貢献したことを地域の人々や卒業生を招いてお祝いました。



ジョナキ小学校校舎修繕工事

支援額：¥683,630

教室等9室の電気の配線、スイッチ、機器の交換と古くなった机とベンチ、ロッカー、棚、扉の修繕を行い、安全な教育環境を整えました。

第一期大規模修繕工事

支援額：¥1,094,118

ジョナキ小学校ガス漏れ調査、応急処置工事

支援額：¥190,366

校舎大規模修繕のための調査

支援額：¥100,125

現在使用していない旧トイレの床に穴が開き、汚臭がひどくなったため、専門家に調査を依頼したところ、排せつ物を埋めていた場所が満杯になり、地下にガスが大量にたまっていることがわかりました。また、老朽化した建物の修繕の調査を実施し、3期にわたる大規模修繕工事が必要であることがわかりました。

現地は4月～9月は雨季と高温になり工事には適さないため、大規模修繕は3年かけて11月～2月に実施することになり、第一期の校舎一階のトイレと、集会で使用しているオープンスペースの地面を掘り起こしてガス抜きをしたうえで、コンクリートで固めました。古い汚物を処理し、15年ほどもつ新しい排泄物処理用の穴を掘りました。

BANGLADESH

シレット・ユニット

カラゲール小学校 排水保護壁の修復工事

支援額：¥138,773

近年バングラデシュでは温暖化の影響で、雨量が異常に増加し、カラゲール小学校から運河への排水路で大規模な土砂崩れが発生。深さ10mほどの陥没ができ、危険な状態となったため、村人の協力を得て保護壁の建設にあたり、子どもたちや周辺住民の安全を図りました。



普及啓発事業および国内活動

チャリティウォークイベント「てくてくハッタ」開催



秋に開催。約 140 名の参加者がジョナキ小学校から日本までの距離を楽しく歩きました！



11月にNEXT SMILE プロジェクト支援のために「てくてくハッタ」を開催しました。2週間専用アプリを利用して参加者みんなで日本からジョナキ小学校までの往復1万キロ歩こう！というコンセプトで、歩数を参加者と競いながら、楽しく健康増進×社会貢献することができました。リアルウォークでは、西国分寺の史跡をめぐりながら武蔵野公園までの約10キロを頑張って歩き、最後はE S A特製カレーランチでお疲れ様会を催しました。

手作り教材プロジェクト

個人や企業、学校などたくさんの方々のご協力により、2024年からは折り紙教材が手作り教材に加わり、約600冊が作成されました。それらの教材を2月に支援先の学校に発送し、間もなく各学校に届く頃です。(以下敬称略)

協力団体：SCSKグループ社会貢献活動クラブ Earth One、オムロン株式会社、株式会社ジェシービー、グラクソ・スミスクライン株式会社、ゴールドマン・サックス、サノフィ株式会社、東京海上日動事務アウトソーシング株式会社、他企業1社



架空の国を舞台にした「TOARU 国ゲーム」で子どもの権利について考える機会を — 啓発事業

E S Aオリジナルロールプレイングゲーム「TOARU 国ゲーム」(2023年度真如苑助成プログラム)を様々なシーンで活用し、「子どもの権利」の普及を実践しました。このゲームは、TOARU 国という架空の国を舞台に、様々な環境の子どもたちに参加者がなりきってその人生を体感しながら人権について学んでいくゲームです。子どものプロフィールの中には、E S Aが支援している実在の子どもをイメージしたキャラクターも含まれています。このゲームは勝敗を競うのではなく、登場する子どもたち全員がWellbeingな生活を送れるようになることが目標です。そのために参加者が知恵を出し合って負のループに陥った仲間を救い出します。参加者からは「当たり前と思っていた権利がそうでないことに気づけた。」「頭でわかってはいたけれど、負のループに入り込むと生きていくのがつらい…」「難民とか聞いたことはあるけれど、実際その人の大変さやつらさはわからなかったがゲームで体感できて、これからその人たちのことを考えて行動しようと思った」といった声が聞かれました。

2025年度はさらに実践できる場を広げつつ、「子どもの権利」や権利をはく奪された人たちに寄り添う心や行動について伝えていきます。

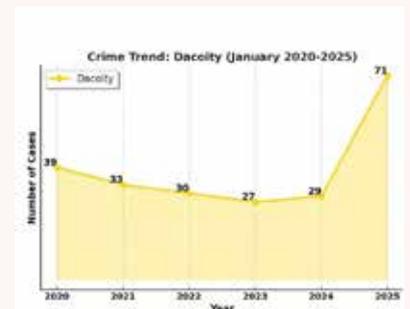
実施協力：都立杉並総合高等学校、株式会社電通、E S Aユースチーム、てくてくハッタ



政変後のバングラデシュは今。暫定政府への信頼が失われつつある。

2024年夏の政変後のバングラデシュの状況は？ ニュースマガジン The Diplomat (March 3 2025) を参考にお伝えします。一日も早い安定と希望ある未来を願っています。

昨年8月5日、アワミ連盟政権が崩壊した日、バングラデシュ警察も崩壊した。暴徒の怒りを恐れた警官たちは逃げ出し、警察署が空になった。危機をさらに煽ったのが、2200人も囚人の脱獄である。過激派、死刑囚など極悪犯70人を含め700人がまだ野放しになっている。彼らが新たに犯罪組織を結成し、誘拐、強盗、略奪、暴行、レイプ、殺人などの凶悪犯罪が急増している。主要都市や町は犯罪のホットスポットとなり、国民は恐怖に襲われ、多くの人々が日没後の外出を避けている。バングラデシュを覆う犯罪の波は、早急に対策が講じられない限り、治安は脆弱なままだ。自由で公正な選挙と新政府の樹立が望まれる。



強盗・強奪犯罪傾向
出典：Bangladesh Police

オリジナルスパイスセットなどの販売 “Spice for Happiness!”

スパイスと紅茶 15,000 個以上をお買い上げいただき子どもたちの教育支援につながりました！ご協力ありがとうございます。

ESAは「3袋の購入でバングラデシュの子どもが1ヶ月学校に行くことができる」とのコンセプトで、本格カレーができるスパイスセットを販売しています。

2024年は対面イベントもコロナ前同様に復活しつつあり、様々な場所でお客様と交流する機会を持ってました。他に、6月にはリナの料理教室をオンラインで開催、インターン主体で目黒マルシェに定期出店、スパイス専用のInstagramを開始し作り方動画などを発信しました。また学校祭で販売して下さる中学高等学校が新たに4校増え、13校が協力してくださいました。5社の企業や夏休み体験ボランティアでスパイス制作ボランティアに協力して下さったり、年間を通して企業や学校、教会の皆様がそれぞれ販売会やとりまとめ注文をしてご協力くださり感謝申し上げます。以下、敬称略。

販売事業ご協力団体：グラクソ・スミスクライン株式会社、ゴールドマン・サックス、東亜ディーケーケー株式会社、三菱食品株式会社、アトリエ縁の下、シャロームロッジ、杉並区交流協会、やすらぎの杜、アレセイヤ湘南高等学校、大妻女子大学、カリタス小学校、カリタス女子中学高等学校、札幌光星中学校・高等学校、サレジアン国際学園中学高等学校、聖カタリナ学園高等学校、聖カピタニオ女子高等学校、聖ドミニコ学園中学高等学校、聖ヨゼフ学園中学高等学校、不二聖心女子学院、藤女子高等学校ボランティア委員会、雙葉学園同窓会、阿佐ヶ谷東教会、渋谷教会、聖アンデレ教会、成城教会、東京聖テモテ教会、町田教会、松が峰教会、函館聖ヨハネ教会、他企業5社

委託販売先：AND shop（ネット）、安曇野ハブスクエア（安曇野市）おしゃマル（茅ヶ崎市）、ショップ コルコル（ネット）、SPACE A&CO 料理研究家 有元葉子のセレクトショップ（世田谷区）、TETENTOTEN（世田谷区）、やすらぎの杜パン工房（練馬区）、りんごのきのした農園（駒ヶ根市）

ESAのスパイスを使ったメニューの提供：薬膳カフェ Artemisia From ゆうずキッチン（出雲市）、株式会社フジランド（港区）、coast to coast（渋谷区）、ホトリテイ（萩市）、Natural cafe garden（豊橋市）



年2回キャンペーン実施や寄付付きスパイスセットも販売



企業向けのスパイスボランティア実施

Special Thanks コースマーケティング（購入を通じた社会貢献）のご協力への感謝

2023年に続き、アフタヌーンティー・ティールーム様が、ティーフェス期間中に実施されたスペシャルセットのご注文ごとに、お客様から15円、さらに運営企業様からも15円を上乗せし、ダージリンの紅茶農園の教育支援のために438,540円をご寄付くださいました。

りんごの売上げの一部を寄付して下さったりんごのきのした農園様、またボランティアベンダーを設置し自動販売機の売上げの一部を寄付して下さった株式会社八洋様、株式会社エフ・ケー・ジェイ様はじめ企業の皆様に心から感謝申し上げます。



アフタヌーンティー・ティールームのティーフェス・スペシャルセット

Youth Team Activities

ESAユースチーム 2024年度の活動

2024年度のユースは、対面での活動を多く取り入れ、メンバー間の親睦を深めながら楽しく活動ができました。惜しくもバングラデシュへのスタディツアーは実現しなかったものの、現地の状況など勉強材料も多一年となりました。グローバルフェスタをはじめとしたイベントを軸に、外部イベントにも多く携わることができ、コロナ禍が終わった今、ユース全員でさらに活動を広げていきたい限りです。来年度以降はユース企画での活動や、ユースの規模の拡大など、待ち受けている挑戦はまだあります。今後ともユースチームの応援のほどよろしくお願いいたします。（ユースチーム代表 松永 未悠）



グローバルフェスタに参加



事務局でユース会議

あなたもESAユースチームの仲間になりませんか？
ご希望の方はESA事務局までご連絡ください。
info@esajapan.org

メンバー募集中！

活動計算書・予算書

2024年1月1日～12月31日 / 2025年1月1日～12月31日

科目	2024年度予算		2024年度決算		2025年度予算	
	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業
I 経常収益						
1 受取会費						
受取運営会費	312,000	0	324,000	0	264,000	0
2 受取寄付金						
教育スポンサー支援金	8,400,000	0	7,777,000	0	7,300,000	0
ESA サポーター支援金	450,000	0	537,060	0	500,000	0
マンスリーサポーター支援金	690,000	0	1,076,000	0	1,320,000	0
テレビジョン募金	11,450,000	0	12,310,076	0	9,000,000	0
3 受取助成金等						
受取助成金	1,040,000	0	450,000	0	300,000	0
4 事業収益						
教育支援事業収益	1,900,000	0	1,743,736	0	1,750,000	0
普及啓発事業収益	700,000	0	599,800	0	700,000	0
その他事業収益	0	8,500,000	0	7,979,436	0	8,100,000
5 その他収益						
受取利息	1,000	0	1,495	0	1,000	0
雑収益	10,000	0	14,800	0	10,000	0
経常収益計	24,953,000	8,500,000	24,833,967	7,979,436	21,145,000	8,100,000
II 経常費用						
1 事業費						
(1) 人件費						
給料手当	3,993,600	1,372,800	3,660,218	1,258,200	3,840,000	1,320,000
法定福利費	480,000	165,000	463,346	159,277	310,000	110,000
保険料	0	7,500	0	8,750	0	7,500
人件費計	4,473,600	1,545,300	4,123,564	1,426,227	4,150,000	1,437,500
(2) その他経費						
教育費	18,599,131	0	18,472,067	0	15,561,000	0
教育施設設備費	3,929,614	0	5,245,910	0	1,920,000	0
海外渡航費	300,000	0	0	0	650,000	0
広報活動費	259,000	91,000	220,007	77,300	296,000	104,000
印刷費	96,000	33,000	36,800	12,650	64,000	22,000
通信費	288,000	99,000	206,582	71,012	224,000	77,000
水道光熱費	96,000	33,000	95,824	32,940	96,000	33,000
地代家賃	624,000	748,800	624,000	748,800	663,500	796,200
備品消耗品費	243,200	83,600	211,704	72,774	212,000	72,600
事務費	320,000	110,000	291,656	100,256	300,000	100,000
支払手数料	380,000	0	363,620	0	370,000	0
旅費交通費	243,200	503,600	291,680	534,304	281,600	536,800
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0
物品販売事業費	0	3,360,000	0	3,102,180	0	3,200,000
その他経費計	25,878,145	5,062,000	26,059,850	4,752,216	21,138,100	4,941,600
事業費計	30,351,745	6,607,300	30,183,414	6,178,443	25,288,100	6,379,100
2 管理費						
(1) 人件費						
給料手当	873,600	0	800,673	0	840,000	0
法定福利費	105,000	0	101,357	0	68,600	0
保険料	2,500	0	2,100	0	2,500	0
人件費計	981,100	0	904,130	0	911,100	0
(2) その他経費						
旅費交通費	53,200	0	61,159	0	61,600	0
印刷費	21,000	0	8,050	0	14,000	0
通信費	63,000	0	45,190	0	49,000	0
会議費	3,000	0	0	0	3,000	0
諸会費	70,000	0	68,200	0	70,000	0
水道光熱費	21,000	0	20,962	0	21,000	0
地代家賃	187,200	0	187,200	0	199,050	0
備品消耗品費	53,200	0	46,310	0	46,200	0
事務費	70,000	0	63,800	0	70,000	0
支払手数料	220,000	0	208,905	0	170,000	0
保険料	40,000	0	41,220	0	42,000	0
修繕費	13,000	0	0	0	13,000	0
新聞図書費	0	0	0	0	0	0
租税公課	1,000	0	300	0	1,000	0
雑費	3,000	0	6,325	0	3,000	0
為替差損	0	0	0	0	0	0
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0
その他経費計	1,318,600	0	757,621	0	1,262,850	0
管理費計	2,299,700	0	1,661,751	0	2,173,950	0
経常費用計	32,651,445	6,607,300	31,845,165	6,178,443	27,462,050	6,379,100
当期経常増減額	-7,698,445	1,892,700	-7,011,198	1,800,993	-6,317,050	1,720,900
経理区分振替額	1,892,700	-1,892,700	1,800,993	-1,800,993	1,720,900	-1,720,900
法人税・住民税及び事業税	250,000	0	130,000	0	130,000	0
当期正味財産増減額	-6,055,745	0	-5,340,205	0	-4,726,150	0
前期繰越正味財産額	42,608,616	0	42,608,616	0	37,268,411	0
次期繰越正味財産額	36,552,871	0	37,268,411	0	32,542,261	0

(単位：円)

■補足説明

2024年度決算について

経常収益

- ◎受取寄付金・テレビジョン募金に含まれる主なもの：使途指定寄付（1,739千円）、切手・書き損じハガキ寄付（209千円）
- ◎受取助成金：住友ゴムCSR基金（150千円）「ダージリンの教育支援のため」、大阪コミュニティ財団（300千円）「ダージリン放課後教室」
- ◎事業収益：教育支援事業はカレスク支援金、普及啓発事業はチャリティウォークイベント「てくてくハッタ」や講師派遣の講師料
- ◎その他事業収益：スパイス、紅茶などの物品販売の売上。

経常費用

- ◎教育費：ジョナキ小学校の調査費、ダージリンの放課後教室費含む、教育費、給食費、活動費、現地教師などの給料、教師トレーニング費、スキルトレーニング費などが含まれる。
- ◎教育施設設備費の詳細は7ページ参照。
- ◎広報活動費：人権教育の啓発事業のためゲーム開発、ホームページ改定、チャリティウォーク「てくてくハッタ」実施。
- ◎通信費：海外との通信費、支援者・寄付者との通信費、機関紙送料、電話代など。
- ◎備品消耗品費：PC購入、Dropboxなどのクラウド使用料など。
- ◎支払手数料：海外送金手数料、クレジット決済などの手数料。
- ◎旅費交通費：スタッフ及びボランティアの交通費。
- ◎2024年度支出決算額の事業費と管理費の割合：事業費95%、管理費5%

2025年度予算について

経常費用

- ◎教育費、教育施設設備費に関しては、2024年最終営業日の為替レート、1バングラデシュタカ1.3円、1インドルピー2円で算出。
- ◎教育施設設備費：ジョナキ小学校大規模修繕、カラゲール小学校机と椅子購入。
- ◎海外渡航費：南インド、バングラデシュ訪問3名。
- ◎広報活動費：広告費、イベント、ホームページ修正費、啓発事業費など含む。
- ◎備品消耗品費：パソコン一台購入、その他ソフトやクラウド使用料。

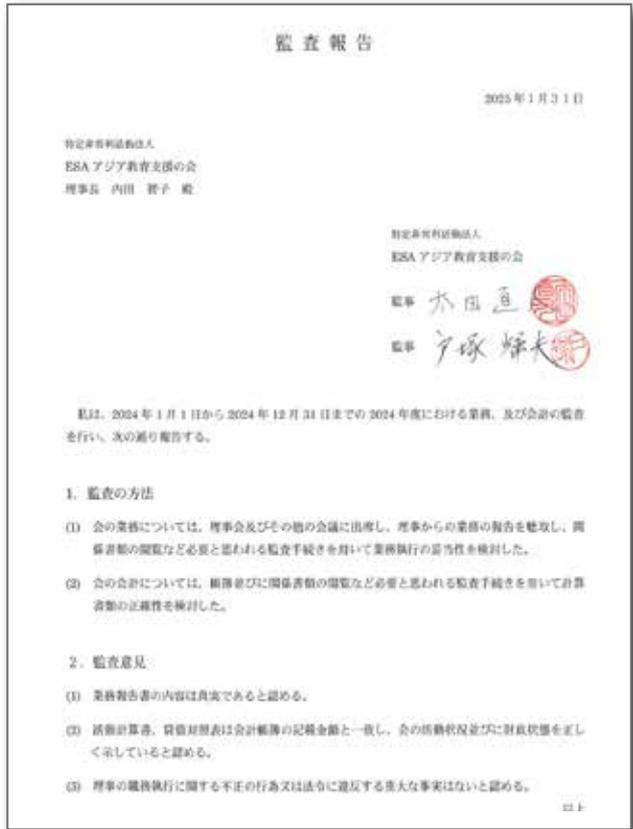
貸借対照表

2024年12月31日現在

《資産の部》			
【資産】			
(現金・預金)			
現金	308,025		
定額預金	3,000,000		
定期預金	4,031,642		
振替口座	256,400		
普通預金	25,066,457		
通常貯金	3,314,564		
現金・預金 計	35,977,088		
(棚卸資産)			
商品	335,848		
貯蔵品	63,777		
棚卸資産 計	399,625		
(その他流動資産)			
未収入金	98,680		
前払費用	776,038		
その他流動資産 計	874,718		
資産の部 合計		37,251,431	
《負債の部》			
【負債】			
預り金	△ 16,980		
負債の部 合計		△ 16,980	
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産	42,608,616		
当期正味財産増加額	△ 5,340,205		
正味財産の部 合計		37,268,411	
負債および正味財産合計		37,251,431	

監査報告書

監事の戸塚輝夫氏と太田直人氏から下記の監査報告を受けました。



ユニット別の教育支援費の詳細

(単位：円)

ユニット名		グループの数・子どもの数			教育費※	
		基礎教育	指導者育成・ 上級生支援	生活改善	予算額	決算額
インド	ダージリン (DAJ)	6グループ 550人	9人		5,503,380	5,522,576 ①
	トリッチャー (TRC)	2グループ 118人			1,102,050	1,273,840 ②
バングラデシュ	ダッカ (DAK)	1グループ 140人	1グループ 2人		1,511,638	1,551,136 ②
	シレット (SYL)	4グループ 291人			3,374,235	3,260,749 ②
	チッタゴン (CHI)	1グループ 250人	3人	1グループ 22人	6,762,421	6,397,401 ①
	現地調査				410,400	466,365
合計 14 グループ、個人合計 1,385 名					18,664,124	18,472,067

※教育費には授業料、制服、教科書、給食費、医療費、行事費、補習授業料、教師トレーニング費、スキルトレーニング費、その他補助費が含まれる。

■予算決算比・補足説明
①：為替レートの変動と上級生数減
②：為替レートの変動

支援者数 (2024.12.31 現在) ●教育スポンサー数 240名 (前年度 281名) ●E S Aサポーター数 89名 (前年度 97名)
●マンスリーサポーター 53名 (前年度 41名) ●カレスクサポーター数 194名 (前年度 226名)

